

16 山県市立伊自良中学校

学 校 名	山県市立伊自良中学校 (校長 宮崎 智和)
活動の種類・単位	健康安全：全校生徒と地域とが連携して取り組んだ。
教育課程上の位置付け	特別活動，総合的な学習の時間

マ

自ら拓き輝く生徒の育成 ～挑み，繋ぎ，貢献する～

2 主な活動内容

「被災時に一番活躍できるのは中学生である。」という防災講話から，本年度の防災教育の合言葉を『自助・共助』とし，防災教育の充実化に努めた。

(1) 「命を守る訓練」の工夫

災害時や緊急時には自分の命を守ることがまず優先される。本校では，地震を想定し，校庭に避難する避難訓練に加え，登校中や休み時間，掃除中に災害が発生した様々な場合を想定したシェイクアウト訓練や，登下校時に不審者に遭遇した際に自身の身を守るため，不審者対策訓練も実施した。

(2) 本校第2学年所属の防災士による被災地訪問報告会の開催

本校第2学年である生徒が昨年度，防災士の免許を所得し，今年8月に東北の被災地を訪問した。その報告会を2学期の始業式で開催した。生徒は被災地の写真を見ながら話を聞き，防災士である生徒が体験を通して感じたこと，防災への提案等を直に聞き，防災意識を高めることができた。

特に，同世代の生徒が防災教育に関して，真摯に取り組んでいる姿勢に刺激を受け，その後の訓練に生かそうとする姿や，防災士を志す姿が見られた。また，防災士である生徒は後日，山県市 PTA 連合研修会で同様の講演を行い，地域の方への防災に対する啓発を行った。



▲ 被災地訪問報告会の様子

(3) 地域防災訓練への参加

共助を実現するにあたり，最も大切なことのひとつが地域の方々との連携・協力である。本年度，山県市の主催する防災訓練に授業の一環として全校生徒が参加した。地域の方々と連携・協力し，以下のような訓練を行った。

- ① 災害時に集団で避難するための避難誘導訓練
- ② 災害ボランティアセンター開設訓練
- ③ 災害時の食事を支えるための応急給食訓練
- ④ 中学生による土嚢作成訓練
- ⑤ 災害による負傷者のための応急手当，搬送訓練
- ⑥ 消火器，ホースを用いた初期消火訓練



▲ 山県市防災訓練の様子

それぞれの訓練を通して，中学生が災害時にどのように地域に貢献することができるのかを明確にし，地域の一員として活動を行うことができた。

子供たちに付いた力	・自分で状況を分析し，適切な行動をとる力。 ・災害時に地域の一員として行動することができる力。
効果	・自分たちが地域の方から頼りにされているという思いを理解し，地域の一員として，自分たちができることが何かを考えながら，主体的に訓練に参加することができた。
今後の方向	・災害図上訓練(DIG)，避難所運営ゲーム(HUG)を地域の方々と連携・協力して行うことで，主体的に地域に貢献しようとする生徒の育成を図る。